



平成21年11月6日

各位

上場会社名 ラサ工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 柳萬 雅徳
 (コード番号 4022)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 小野 茂夫
 (TEL 03-3278-3892)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,200	△300	△850	△900	△11.35
今回発表予想(B)	10,880	△1,080	△1,660	△1,670	△21.06
増減額(B-A)	△1,320	△780	△810	△770	
増減率(%)	△10.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	18,179	1,128	882	577	7.28

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,700	250	△900	△950	△11.98
今回発表予想(B)	24,400	△850	△2,100	△2,100	△26.48
増減額(B-A)	△2,300	△1,100	△1,200	△1,150	
増減率(%)	△8.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	32,267	△544	△1,431	△6,738	△84.97

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,800	△100	△600	△600	△7.57
今回発表予想(B)	9,650	△920	△1,510	△1,530	△19.29
増減額(B-A)	△1,150	△820	△910	△930	
増減率(%)	△10.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,300	250	△800	△800	△10.09
今回発表予想(B)	21,600	△900	△2,100	△2,100	△26.48
増減額(B-A)	△1,700	△1,150	△1,300	△1,300	
増減率(%)	△7.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	28,259	△1,132	△1,673	△6,820	△86.00

修正の理由

(第2四半期累計期間)

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、電子材料事業のテスト用シリコンウェハー再生事業は、半導体・電子デバイス関連業界が回復基調にあるものの当初予想に比べ再生需要回復の足取りが鈍いことから、競合他社との受注競争は激しさを増し、想定以上に販売単価が下落いたしました。このため売上高は当初予想を下回る見込みとなっております。また、在庫の払出し金額が想定より大きくなったこともあり、損益は当初予想より大幅に悪化いたしました。

また、機械事業は、公共事業の先行き不透明感から破碎関連機械の単体及び消耗部品の販売が低迷し、収益が当初予想を下回る見込みとなりました。

(通期)

通期の業績予想につきましては、今後の電子材料事業のテスト用シリコンウェハー再生事業は数量の回復基調が続くものと予想しており、販売単価も下げ止まりの兆候が見られます。しかしながら、販売単価は現時点で当初想定以上に下落しているため、今後の損益については労務費削減等のコストダウン効果があるものの当初予想を下回る見込みです。

このような状況から、平成22年度3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を上記のように修正いたします。

以上